

# 「隠岐びとの心」を育み町民の誇りとなる庁舎を実現



## 設計コンセプト

「隠岐の島町新庁舎建設基本計画」に基づき「隠岐びとの心」を育む庁舎を実現するため、7つのコンセプトで設計に当たります

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| ① 山・海・人がつながり、未来をつくる庁舎     | 行政サービス機能の向上        |
| ② 島の安全・安心をささえる庁舎          | 町民の安全を守る防災拠点       |
| ③ 島の風土と資源を活かした環境配慮型庁舎     | 地球環境に配慮した庁舎        |
| ④ 島産木材を活用し、島産木材の魅力を発信する庁舎 | 地元産木材を活用した庁舎       |
| ⑤ 町民に寄り添うユニバーサルな庁舎        | 人にやさしい庁舎           |
| ⑥ 未来を見据えた長寿命庁舎            | 将来変化に柔軟に対応できる庁舎    |
| ⑦ 島の未来をつくるにぎやかな庁舎         | 新たなまちづくりと町民の一体感の醸成 |

## 「総合力」と「豊富な庁舎実績」と「隠岐の島を熟知」した特別な設計チームを編成

### 地元設計事務所との協働で地域特性を設計へ反映

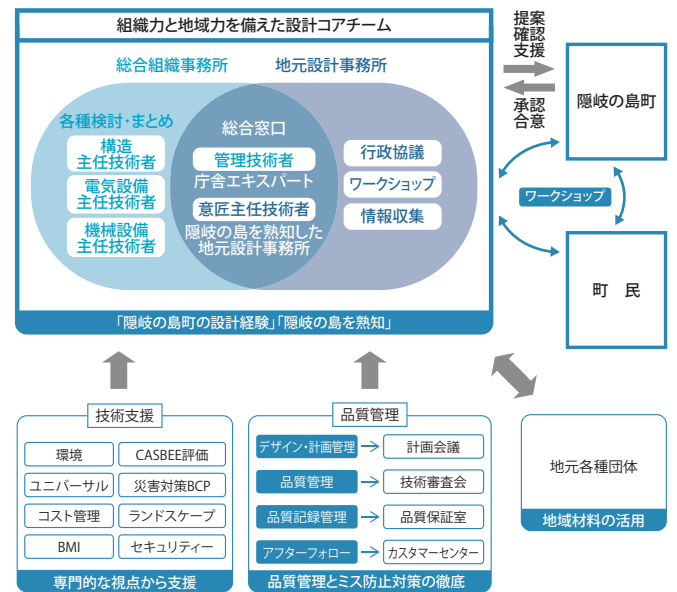
- 隠岐の島町で実績のある総合組織設計事務所の高い組織力と隠岐の島を熟知した地元設計事務所との協働により業務に取り組みます。
- 地元設計事務所にて設計拠点を置いて、コミュニケーションを高め、迅速に業務に対応します。

### 庁舎エキスパートの管理技術者を核とし、多面的支援による設計チーム

- 設計コアチームのメンバーは、庁舎をはじめ公共施設設計の豊富な経験と実績に基づき、新庁舎設計における課題を具体的かつ確実に解決に導き全力で取り組みます。
- 多方面から総合的な検討を図るため、設計コアチームを支援する環境や災害対策などの各エキスパートを動員します。

### 対話型の設計でコミュニケーションを重視した連絡体制

- 町担当部署との綿密なコミュニケーションを重視し対話型の設計を進めるため、設計コアチームが中心となり、窓口を一体化し確実な連絡体制とします。



技術力・組織力・地域力を活かした設計チーム

## 隠岐の島町の良きパートナーとして強力に支援する取組姿勢

### 職員、議会等の関係者との円滑な合意形成

- 設計の早い段階から、各課及び議会や関係部署に対し現況調査と諸元ヒアリングを実施し、コンセンサスを得ながら確実に進めます。
- 造成設計、地質調査、オフィスレイアウト・サイン計画など十分に協議を行い、設計に反映させます。

### 実効性ある町民との対話手法の実施

- ヒアリング調査、検討委員会等の長所を取り入れ町民参画ワークショップを開催して、町民の声を収集します。
- 基本設計案の段階でパブリックコメントを実施し、意見を収集した上で基本設計のとりまとめや実施設計に反映させます。

## フロントローディングによる早期の意見反映と合意形成・遅延のない的確なスケジュール管理

工程計画	平成29年			
	3	4	5	6
概略工程	条件整理	基本方針検討	基本設計案検討	検討・概算
敷地調査	早期に基本性能を確立			
関連法規の確認	規模・施設諸元・構成の検討			
与条件の整理	ヒアリング 整理			
各種ヒアリング	綿密なコミュニケーションによる要望の聞き取り			
配置・平面プランの検討 (BIM活用)	配置検討 平面検討 調整			
構造・設備検討	BIMの活用による対話型の設計			
工事概算	各種BIMによる環境シミュレーションを行います			
敷地造成設計との調整	きめ細かなコスト検証			
オフィスレイアウト・サイン計画の調整	3回のコストチェック			
建設検討委員会	概算・コスト調整			
ワークショップ	町民と共に創りあげるワークショップ			

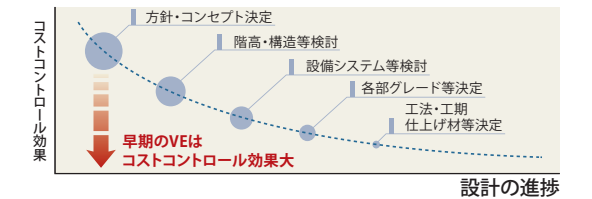
工程表

### スケジュール管理の徹底

- 本業務は履行期間が短い為、貴町の想定スケジュールに合わせて担当者の増員を図り、履行期限を厳守します。
- 定期的に打合せを設定し、決定・保留事項を明確にして遅延のない業務推進をします。

### 設計初期を重視したフロントローディング手法の採用

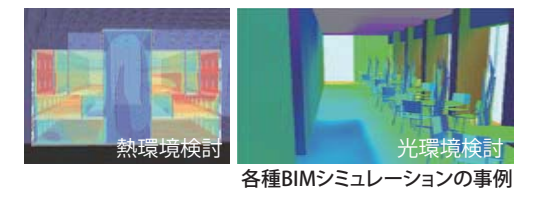
- 設計作業が20%進むと建設コストの80%が決定されると言われています。設計初期段階を重点的に管理して、様々な検討を行う「フロントローディング」を行うことにより、手戻りをなくし着実に迅速な設計を行い早期の合意形成を目指します。



設計の進捗

## BIMを活かした設計プロセスと合意形成

- 国および自治体で最初にBIMを取り入れた業務実績を活かし、BIMとともに更なる視覚的にわかりやすいプレゼンテーションを実行するため、BIMと連結した3Dプリンターなどのデジタルツールを活用します。
- また、早期のイメージ共有化を図り、合意形成を推進し、手戻りの少ない設計プロセスとします。



各種BIMシミュレーションの事例

## わかりやすい業務遂行と確かな根拠に基づく提案型の設計

### テーマ別ワークショップ(WS)の開催

- 多世代にわたる町民の参加による「町民のアイデアを活かすべきテーマ」を設定したワークショップを開催し、基本方針の具体化につながる町民の要望を抽出します。
- 町民意見を具体的に反映すべき内容として「町民参画スペース」「屋外環境」の2テーマに絞り、実効性のあるWSとします。

### 根拠に基づく設計と提案

- これまでの豊富な庁舎の社内データを活用し、同種・同規模事例の比較分析等により得た信頼できる情報に基づいた検討資料を作成し、わかりやすく根拠ある設計を行います。コストについても直近の施工事例を元にあらゆる比較検討を行い、最適な提案を行います。プロジェクトを遅滞なく円滑に進めます。

### わかりやすい資料を用いた打ち合せ

- 庁内の確認のためや町民対話のWSの説明会において、図面だけではわかりにくい事柄もBIMやCGの活用によりデジタルモデルルームを作成し、空間を擬似的に体験していただくことで相互理解を深めます。合わせて、施設全体のイメージについては模型等を活用して俯瞰しながらイメージの確認を行います。

### 設計・建設過程の見える化

- WSの告知や報告、設計概要、建設工事の進捗を町のホームページに掲載し、また、現庁舎の一面に新庁舎プロジェクトコーナーを設置し、同時に活用することで、町民の皆様に伝える「見える化」に努めます。



BIMやCGによるプレゼンテーション

モデルによるスタディ



関係団体グループインタビュー

庁舎内のプロジェクトコーナー

# 山・海・人がつながり、未来をつくる隠岐の島庁舎

## 風土・文化とつながる

島の風土と対話し、文化を継承して島ならではの愛着をもてる庁舎とします。

## くらしとつながる

くらしのネットワークを形成し、親しまれる庁舎をつくりまします。

## 人と人がつながる

町民の多様な活動の場や居心地の良い空間をつくり、住民参加と交流の拠点を創出します。

## 未来へつながる

島の資源を魅力的に活用し、町民が誇れる「隠岐の島ショールーム」を創ります。



### 南側外観イメージ

日本海の荒波をこえる北前船のシルエットをモチーフとした「北前船ルーバー」はアナジ(北西風)を防ぎ、日射を調整します。



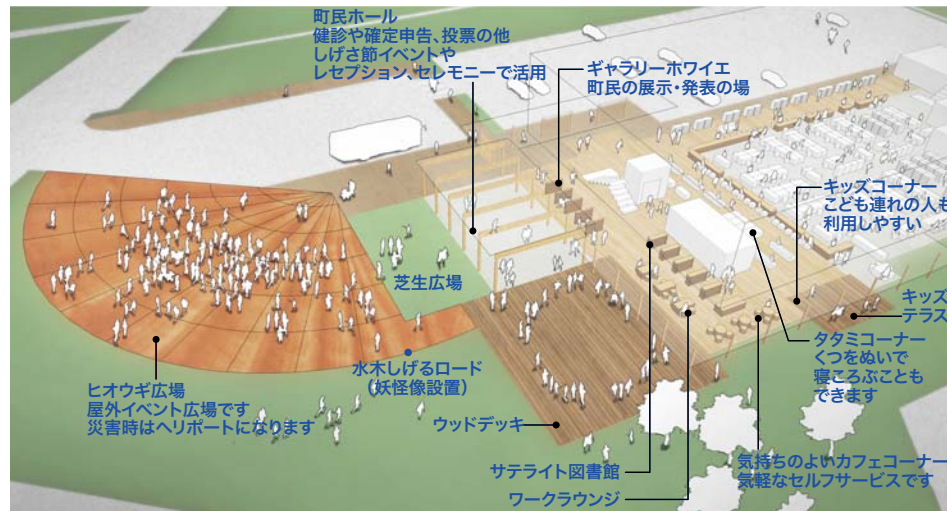
北前船 ヒオウギガイ 隠岐の黒松 磯之杉 隠岐ジオパーク

## くらしとつながる敷地利用計画

- 隠岐病院や商業施設からの帰りにも気軽に立ち寄れるよう、新庁舎の進入路とメインエントランスは北西に計画します。
- 町道3号線と国道485号線の結節点に、賑わいがうまれイベントもできる広場を整備します。これによりまちに対して新庁舎での活動を展開していくことができます。



新庁舎とまちとのつながりイメージ



多様な活動が展開される町民ゾーンのイメージ

## 町民の多様な活動に応える配置計画

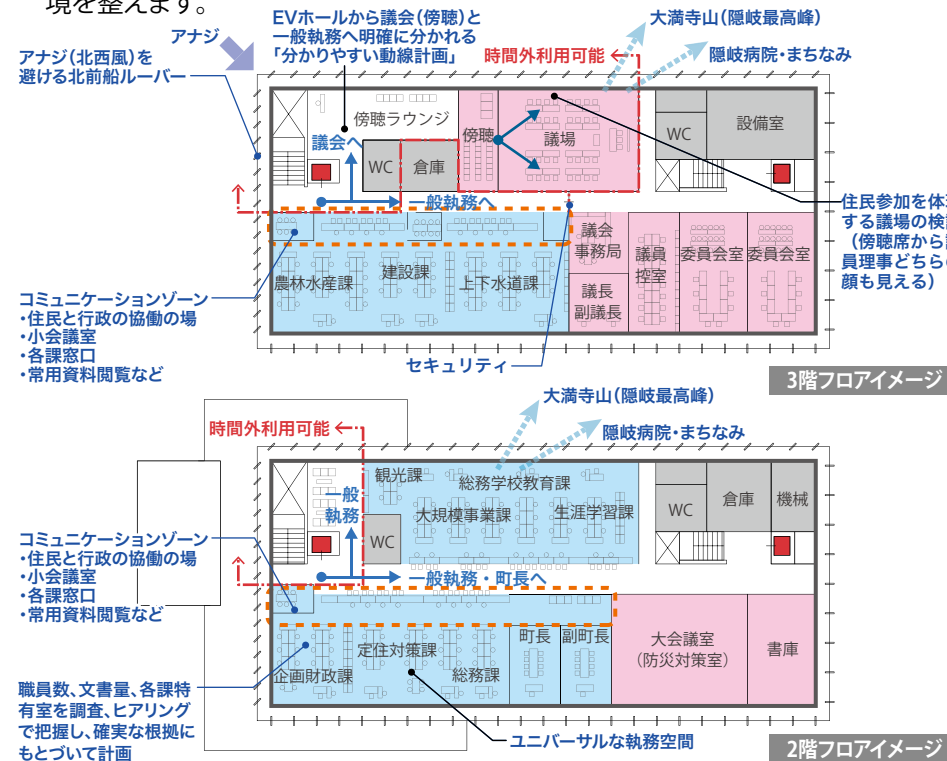
- 町道の改良やバスの乗り入れ整備と連携し、敷地への進入路及び主出入口は北西が最適であると考えます。
- アプローチしやすい位置にヒオウギ広場を設け、芝生広場、ウッドデッキ、そして庁舎内へと活動が繋がる配置計画とします。
- 新庁舎を中心に、南に公用車、北に来庁者と明快に分離し、使いやすい屋外空間とします。

検討案	北西アプローチ (本提案)	南アプローチ
進入路と玄関位置	進入路最短○・玄関北側○(スクリーン設置)	進入路長い△・玄関南側○
ヘリポートと広場	ヘリポート○・広場確保○	ヘリポート○・広場確保できない×
東駐車場との連携	職員駐車場がまとまる○	連携確保できない×
冬の北西風対応	建物の長辺が北西に面する△	建物の短辺が北西に面する○
庁舎南側の活用	緑地確保○	玄関のみ△
歩車分離	敷地西・南は分離○	敷地西・南で分離できない×
北側農地への影響	北側農地への日照を確保する配置 (共通)	
総合評価	○	△

配置イメージと比較検討表

## 人がつながり、未来へつながる平面計画

- 町民が主役のまちづくりの拠点として、多様なコミュニケーションを展開できる庁舎を目指します。
- シンプルでわかりやすい空間構成で使いやすい庁舎とします。
- 廊下からも執務室からも使いやすい位置に、これからの隠岐の島をみんなで創るためのコミュニケーションゾーンを配置します。
- 東西に長い均質な執務空間とし、将来の組織改編に柔軟に対応します。
- 南執務室にはルーバー(ライトシェルフ)を設け、自然光を奥まで導き、快適な環境を整えます。



2階フロアイメージ



配置・1階フロアイメージ

プライバシーへの配慮  
・みんなが顔見知りの隠岐の島だからこそ、プライバシーへの配慮は重要

時間外の出生庫などで利用

職員休憩コーナー  
木質ヘットのショールーム化(ベレット利用機器が見える)

職員・公用車は一方通行運用とするなどスムーズな利用を工夫する

職員・公用車は一方通行運用とするなどスムーズな利用を工夫する

# 島の安全・安心をささえる庁舎

## 安全・安心な建物の構造計画

長く町民を守り、町民に親しまれる施設を目指して合理的な躯体計画を行います。

### 庁舎：鉄筋コンクリート造

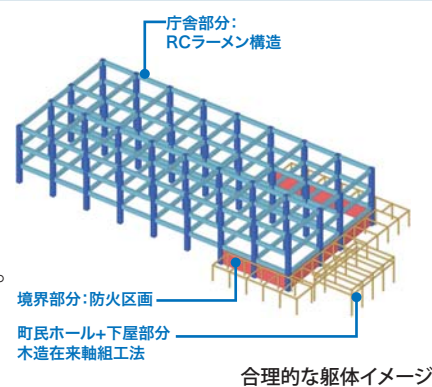
- ・ 隠岐の島内で材料入手が容易な鉄筋コンクリート造を採用します。
- ・ 耐力壁の無いラーメン構造を採用し、フレキシブルな平面計画を実現します。
- ・ コンクリート強度を30N/mm<sup>2</sup>以上とし、耐用年数を100年とします。
- ・ 鉄筋のかぶり厚さを標準より10mm厚くし、塩害に対する耐久性を向上します。

### 町民ホール：木造

- ・ 隠岐の島内で材料入手が容易で職人の技術を活かすことができる木造を採用します。
- ・ 木造部分は剛性の高いRC造部分と一体として、地震時の変形を防止します。

### 防火区画による別棟扱い（※住防発第14号昭26年3月6日より）

- ・ RC造と木造は防火区画により防火構造上別棟とみなし、町民ホールを木造化します。



## 安全・安心な建物の防災計画

あらゆる災害への万全な防災対策により災害時に庁舎機能を維持します。

### 水害対策

- ・ 庁舎へ浸水を防ぐようレベル設定します。
- ・ 重要機器、諸室を上階に設置し水害時に機能を維持します。
- ・ 免震層への万が一の浸水時にはポンプアップで排水可能とします。

### 暴風雨対策

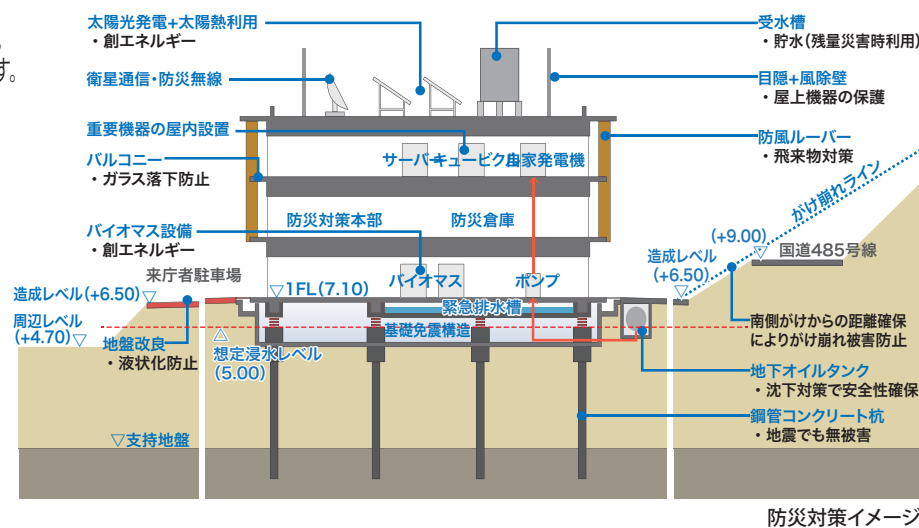
- ・ 豪雨時浸水しない余裕ある雨水排水計画とします。（過去最大雨量29mm/10分を考慮）
- ・ ガラス強度確保と庇によりガラス落下を防止します。
- ・ ルーバーにより飛来物被害を防止します。
- ・ 屋上風除壁により屋外設置機器を保護します。

### 塩害対策

- ・ 重要機器を屋内設置し劣化防止します。
- ・ 屋外設置する機器は耐塩害仕様とします。

### 地震対策

- ・ 免震構造を採用し安全性を確保します。
- ・ バイオマス設備を免震側に設置し安全性を確保します。
- ・ 耐震性能に優れた鋼管コンクリート杭で建物を支持します。
- ・ 機能継続に必要な外部は地盤改良で液状化を防止します。
- ・ オイルタンクは沈下対策し機能を維持します。



## 万全の災害対策と災害時の機能維持

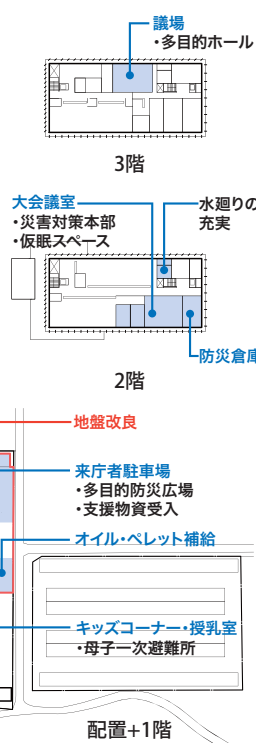
### 災害時の施設運用

外部：緊急車両、物資搬入、ヘリポート、エネルギー供給ルートの範囲を地盤改良し液状化防止を提案します

1階：一次避難所や物資受入に活用します

2階：災害対策本部を集約配置して迅速な対応を可能にします

3階：平土間議場の多目的利用により冗長化を図ります

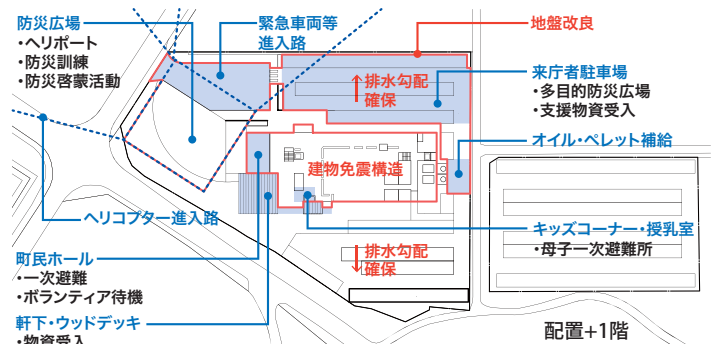


### ノンダウン庁舎

災害時の庁舎機能維持のため、①インフラ断絶を防ぐ対策、②インフラ断絶時のエネルギー確保、③自然エネルギーによる機能維持と各段階を見据えて計画します。

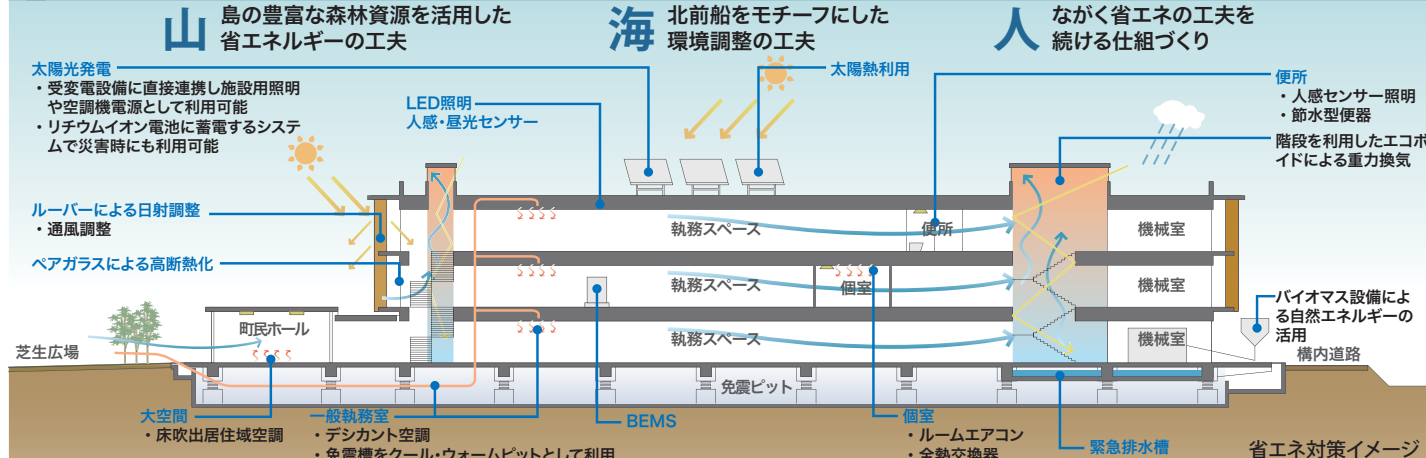
- ・ 非常用発電機（備蓄燃料3日分、節電モードで7日以上連続運転対応）によりバックアップ電源を確保します。燃料は災害時でも比較的入手しやすい灯油とします
- ・ 燃料の不要な太陽光発電による自立電源を確保します。
- ・ 災害時の飲料水確保のためペットボトルの備蓄に加え、受水槽にも貯水します。
- ・ 排水は免震ピットを利用した緊急排水槽を設置します。
- ・ 災害時の機能をより長く継続する機能として、消費電力の最小モード設定機能（照明・空調等）、高効率機器を採用し、備蓄消費熱量を最小限にします。
- ・ 電力及び通信は2回線及び2ルート、多回線による引込みを検討し信頼性の向上を計画します。

①インフラ 基礎設備維持	②災害時エネルギー 備蓄・貯留	③自立エネルギーの確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>■電気           <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力2回線</li> <li>・通信2回線</li> </ul> </li> <li>■上下水道           <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水</li> <li>・給水・受水槽</li> <li>・緊急排水層の確保</li> </ul> </li> <li>■オイルタンク           <ul style="list-style-type: none"> <li>・完全密封型</li> <li>・沈下対策</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電気           <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用発電</li> </ul> </li> <li>■給排水           <ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽（残量）</li> <li>・備蓄ペットボトル</li> </ul> </li> <li>■排水           <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急排水槽</li> </ul> </li> <li>■空調           <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油バックアップ熱源</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電気           <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光利用（蓄電）</li> <li>・有効な自然採光</li> </ul> </li> <li>■空調           <ul style="list-style-type: none"> <li>・有効な自然通風</li> <li>・外気冷房</li> <li>・太陽熱利用</li> <li>・バイオマス</li> </ul> </li> </ul>



# 島の風土と資源を活かした環境配慮型庁舎

## 建築・設備全体で環境負荷を低減



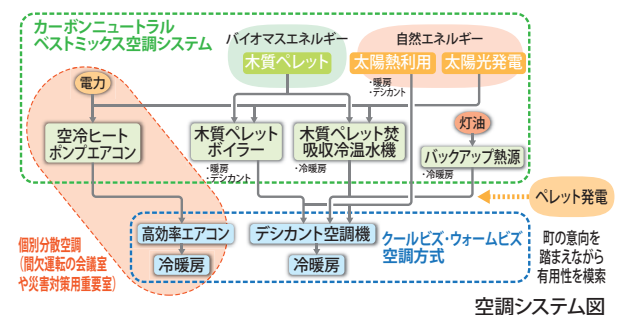
## 設備的な省エネルギー対策

### 自然エネルギーを活用する空調システム（約12.1%削減）

- ・ バイオマスエネルギー+太陽熱+太陽光を組み合わせたカーボンニュートラル・ベストミックス空調システムを検討します。
- ・ 施設特性上給湯負荷が少なく空調負荷が大きい為、執務室の空調に必要な冷暖房運転は全て補助金活用による木質ペレットボイラーと木質ペレット焚吸収冷温水機でまかない、高効率運転を可能とすることで省エネとペレット利用の両方を実現します。
- ・ 町の意向を踏まえながら、ペレット発電の有用性を模索し、太陽光発電を含めた最適な発電方式を目指します。

### 気候に合わせた空調方式（約2.4%削減）

- ・ 隠岐の島特有の湿度の高い環境に合致する潜熱と顕熱を分離させたクールビズ・ウォームビズ空調（デシカント空調）で湿度を適切にコントロールし省エネを実現します。



### 空調エネルギーの削減（約4.3%削減）

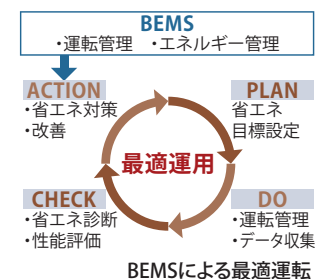
- ・ 間欠運転で人員の変動がある会議室などの全熱交換器はCO2センサー及び汚れセンサー機能付きとし、適正な風量制御を行い省エネ化を図ります。
- ・ 中間期に外気を多く取入れることでエアコンを動かさずに冷房可能とします。
- ・ インテリジェント空調管理システムを採用し、きめ細かく温度湿度管理をコントロールして電力デマンド制御を行います。

### 照明エネルギーの削減（約7.1%削減）

- ・ 照明設備にはLED照明を採用し長寿命化+省電力化を実現します。
- ・ スケジュール点滅、明るさセンサーによる照明の自動点滅、トイレの人のセンサー等により無駄な点灯と消し忘れ防止を徹底し照明負荷を低減します。
- ・ 汎用品を極力採用することで交換コストを抑制します。

### エネルギーの見える化（約0.5%削減）

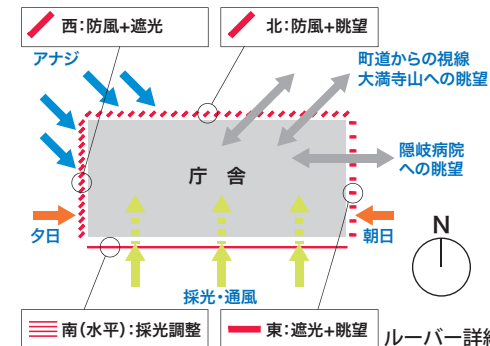
- ・ BEMS（エネルギー管理システム）を採用し庁舎のエネルギー使用状況を把握しながら管理することで保全業務を効率化します。
- ・ エネルギー使用状況が確認できることで省力化と施設全体の最適運用が可能となります。
- ・ 省エネ表示モニターのエントランス設置、WEB公開等の手法により町民に対して自然エネルギー、省エネルギー等の意識の共有が可能となります。



## 建築的な省エネルギー対策

### 各面への北前船ルーバーの設置（約5.3%削減）

北前船ルーバーは方位により防風、日射調整、周辺への眺望など、様々な条件によって間隔や角度を調整します。建物の特長的な外観をつくるだけでなく、省エネルギーに寄与します。



### エコボイドによる重力換気（約1.5%削減）

階段の堅穴上部に換気窓を設けて重力換気を行い、内部の通風・換気効率を高めて省エネルギーに寄与します。



## 建物全体での削減目標値

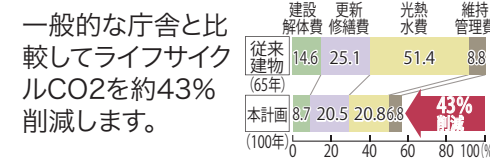
### 光熱水費（約35%削減）

一般的な庁舎と比較して光熱水費（ランニングコスト）を約35%削減します。

省エネルギー技術	削減率	省エネルギー技術	削減率	省エネルギー技術	削減率	省エネルギー技術	削減率
高効率機器	2.4%	LED照明・タスク&アンビエント照明	5.1%	高断熱・日射制御	5.3%	自然換気・エコボイド併用空調	1.5%
明るさセンサー照明	2.0%	太陽光発電	6.4%	太陽熱利用	1.4%		
全熱交換機	1.9%	電気+油+自然エネルギーのベストミックス空調	2.4%				
節水衛生器具	1.8%						
<b>光熱水費削減率 約35%</b>							

### ライフサイクルCO2（約43%削減）

一般的な庁舎と比較してライフサイクルCO2を約43%削減します。



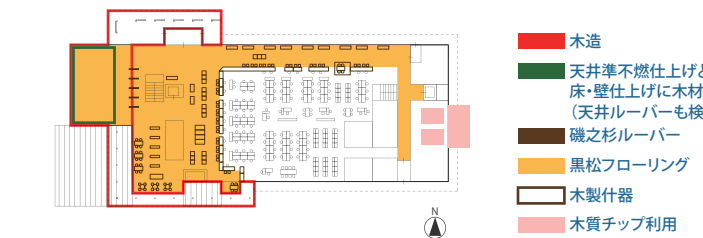
# 島産木材を活用し、島産木材の魅力を発信する庁舎

## 島産木材のショールームとなる庁舎

- 島産木材の新たな活用を模索します。町民の誇りとなる庁舎とするため、島の「磯之杉」「黒松」を積極的に使用します。
- 素材の特性を踏まえ、構造材、造作材、外装材、内装材、什器など、適材適所で多様な利用方法を検討します。町民が見ることができ、触れることができる部分に積極的に使用し、庁舎全体を島産木材のショールームとします。

比較検討項目	磯之杉	黒松
気乾比重	0.30~0.38	0.42~0.52
重さ・硬さ	軽軟	重硬
加工しやすさ	しやすい	重硬
コスト	安価	
耐候性		雨に弱い
その他		光沢あり

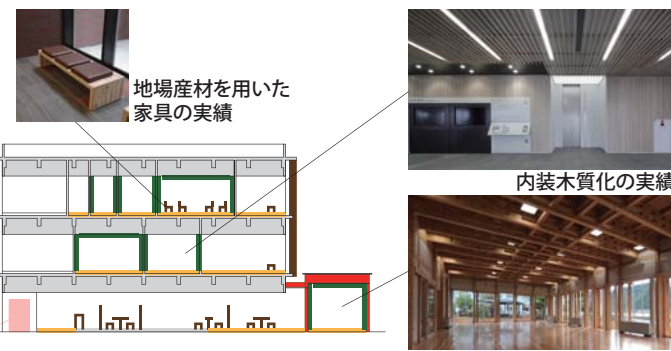
適材適所で多様な利用方法の検討表



- 木造
- 天井準不燃仕上げとし、床・壁仕上げに木材を使用(天井ルーバーも検討)
- 磯之杉ルーバー
- 黒松フローリング
- 木製什器
- 木質テップ利用

## 島でつくり、地域産業に貢献する庁舎

- 島の職人が、島の技術でつくりことができる計画とします。
- 島で生産可能な長さ6m以内の一般製材を在来工法の技術で用います。これにより、材料コストを抑え、地元の職人や企業が庁舎建設やメンテナンスに参加できます。
- 島外への搬出が必要な不燃処理や集成材化は避け、木材そのものの特性を生かした計画とします。
- 補修や部材の取換えなどのメンテナンスが容易にできるディテールを計画し、島産木材の継続的な消費を促します。

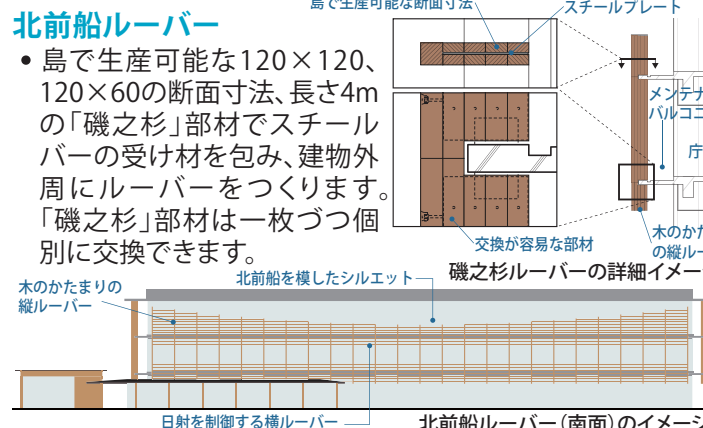


木材利用ダイアグラム 在来工法による小屋組みイメージ

## 島産木材の特性を活かし、魅力をアピールする庁舎

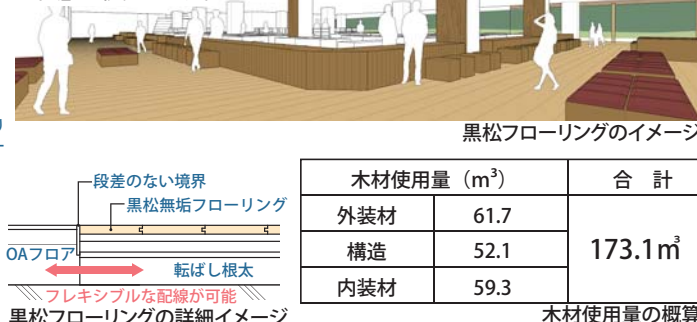
### 北前船ルーバー

- 島で生産可能な120×120、120×60の断面寸法、長さ4mの「磯之杉」部材でルーバーの受け材を包み、建物外周にルーバーをつくります。「磯之杉」部材は一枚づつ個別に交換できます。



### 黒松フローリング

- 硬く、美しい光沢を活かし、来庁者ゾーンの床一面に「黒松」を使います。

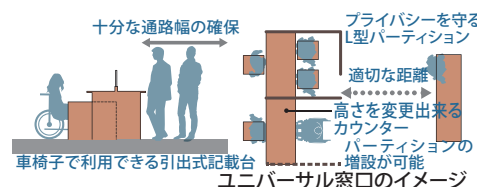


木材使用量 (m³)	合計
外装材	61.7
構造	52.1
内装材	59.3
	173.1m³

# 町民に寄り添うユニバーサルな庁舎

## 相談しやすい窓口を提案します

- 顔見知りの多い島であることを考慮し、だれにとっても使いやすいユニバーサル窓口と、町民が安心して利用できるプライバシーに配慮した相談室を設けます。



## 町民サービスを向上します

- 町民の利用が多い窓口を1階に集約します。
- エントランス近くにワンストップサービス窓口を設けます。バックアップデスクのある2線方式等を検討します。
- 傍聴する町民にとって議事進行がわかりやすい対面型の議席配置と親しみやすい傍聴席を提案します。



## 誰もが快適に利用できます

- 雨に濡れずにアプローチできる屋根付き身障者用駐車場を設けます。
- エントランスから窓口が一目でわかり、スムーズに目的のサービスまで辿りつきます。
- 来庁者がスムーズに移動できるよう庁舎全体をバリアフリー化し、エレベーター、オープン階段をわかりやすい位置に設けます。
- 遠くからでも明るくわかりやすい案内表示を実現します。また、色弱者に配慮した視認性の高い配色計画、仕上げ材の切り替え、サイン計画を提案します。
- 来庁者の快適な利用のため、トイレ、授乳室をわかりやすい位置に設けます。また、車いす利用者、身障者、オストメイト、乳幼児利用などに配慮した多目的トイレを提案します。

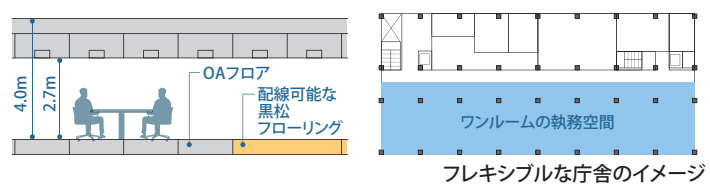
# 未来を見据えた長寿命庁舎

## スケルトンとインフィルを分離したフレキシブルな庁舎

- 耐久性の高い骨格(スケルトン)と更新・変更柔軟に対応できる内装・設備(インフィル)の役割を明確化します。
- ゆとりのある階高、床荷重設定とすることで、組織改編や設備機器の更新に対する柔軟性を持たせます。

## レイアウト変更に対応できるワンルームの執務空間

- レイアウト変更の容易な東西方向に延びるワンルームの執務空間を計画します。また、モジュール設定とOAフロアにより、効率的なオフィスレイアウトを可能とします。
- 黒松フローリングは床下配線可能なディテールとし、コンセント等の追加設置に対応可能です。



## 機能的な庁舎

- 執務空間に常用文書の棚、職員専用の給湯・休憩コーナーを設け、円滑な執務を支援します。
- 文書量の調査後、保存文書を効率的に整理、収納できる書庫を計画します。
- 職員の動線と来庁者の動線を分離し、効率性とセキュリティを向上します。

# 島の未来をつくる多世代が集うにぎやかな庁舎

## まちづくりの拠点

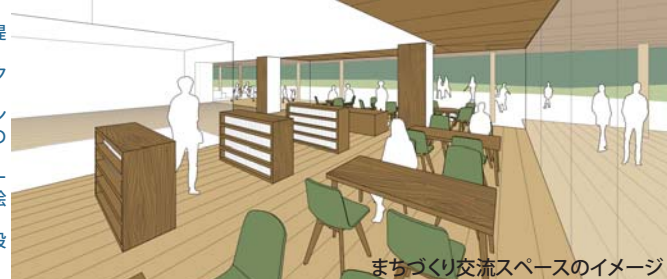
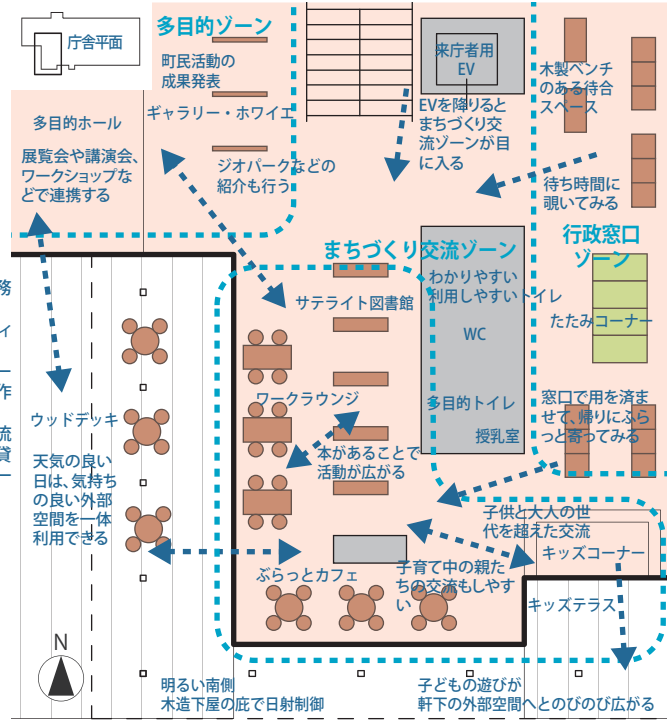
町民が自由に使えるまちづくりの拠点として「ワークラウンジ」を提案します。

- 町民の活発な交流や活動を促し、島の未来をつくる住民参加のきっかけとなる場所です。



町民が活動するための場所として、「サテライト図書館」を提案します。

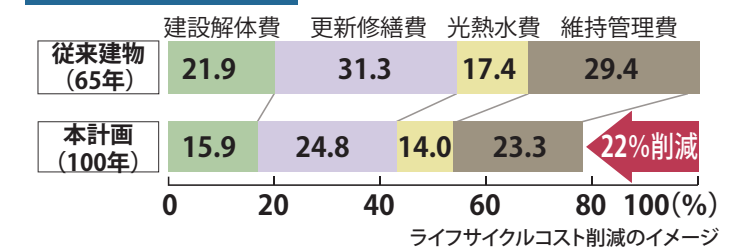
- 様々な情報が行き交い町民が活動の輪を広げる場所です。



## ライフサイクルコストを22%削減(100年)

- 建物外周のルーバー、庇(メンテナンスバルコニー)、Low-E複層ガラスにより、熱負荷を削減し、空調機のエネルギーコストとランニングコストを縮減します。
- シンプルな矩形の建物とすることで、エネルギーコストと外壁面の維持管理費を縮減します。
- 機能を整理し、床面積を約5%縮減することで、エネルギーコストとランニングコストを縮減します。
- パイプスペースを各階共通とすることで、設備配管の長さを縮減し、エネルギーコストとランニングコストを縮減します。
- 高効率・長寿命な機器と、の採用により、光熱水道費と維持管理費を削減します。
- 有資格者の不要な汎用性の高い設備を採用し、管理運営費を削減します。
- 建物外周のバルコニーにより、メンテナンスを容易なものとし、維持管理費を削減します。

## LCC削減(100年間)



## みんなの居場所

誰でも気軽に利用できる島の交流場所として「ぶらっとカフェ」を提案します。

- 庁舎に用事がなくてもつい立ち寄りたくなる場所をつくりたい。



子どもと子育て中の親の居場所として「キッズコーナー」を提案します。

- 子どもが安全に遊べる場所です。遊びを介して親同士、町民に交流が生まれます。

